

取扱説明書

WGP-DBZ

WGP-DBT

絶縁ディストリビュータ

SIGNAL DISTRIBUTOR

この度は、*watanabe*製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご希望通りの仕様であるか、定格ラベルの表示事項をお確かめの上、この説明書に沿ってご活用ください。

本取扱説明書では、本器の取扱い方法、接続方法及び調整方法について説明しています。

本器は、厳重な品質管理基準にもとづいて製造・検査されております。万一、輸送上の破損等で不都合がございましたら、なるべく早く弊社またはお買い上げいただいた販売店までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

○梱包物の確認

- 変換器本体 … 1台
- ソケット … 1個

※型式、及び仕様につきましては、弊社ホームページより製品仕様書をダウンロードの上、ご確認をお願い致します。

1. ご注意事項

1) CE 適合指令品としてご使用される場合

- 本器は、設置カテゴリⅡ、汚染度 2 の使用に適合しています。また、信号の入力・出力の絶縁能力は基礎絶縁です。設置する前に、本器の絶縁クラスが、ご使用の要求仕様を満足していることを確認してください。
- 本器は制御盤内設置型として定義されるため、必ず制御盤内に設置してください。
- 2000m 以下の高度でご使用ください。
- 適合 EN 規格: EN61326-1 EMS:工業設置/EMI: class A
配線長 30m以下にて適用

EN61010-1

EN IEC 63000

※カタログ標準品以外の入出力仕様は CE 適合外です。

2) 供給電源について

- 定格ラベル記載の定格電圧をご確認の上、下記の各定格範囲にてご使用ください。(定格ラベルにて△を記載)

- 100~120V AC
AC100~120V±10% (50/60Hz)
・DBZ: 約 3.4VA
・DBT: 約 4.6VA
- 200~240V AC
AC200~240V±10% (50/60Hz)
・DBZ: 約 5.2VA
・DBT: 約 7.3VA
- 24V DC
DC24V±10%
・DBZ: 約 78mA
・DBT: 約 110mA

※CE 適合品としてご使用にならない場合は、21.6~30V としてご使用いただけます。

- 100~120V DC
DC100~120V±10%
・DBZ: 約 16mA
・DBT: 約 26mA

3) 取扱いについて

- 本体をソケットから取り外す際、または取り付けの際は危険防止のため、必ず電源及び入力信号を遮断してください。

4) 設置について

- 屋内で使用してください。
- 周囲温度が-5~55℃の範囲を超えない場所に設置してください。
- 周囲湿度が 90%RH 以下 (非氷結・非結露) の場所に設置してください。
- 塵埃、金属粉などの多い場所に設置する場合、放熱対策を施した防塵設計の筐体に収納してください。

- 振動、衝撃は故障の原因になります。極力避けてください。
- 本体の通風口をふさがないようにしてください。

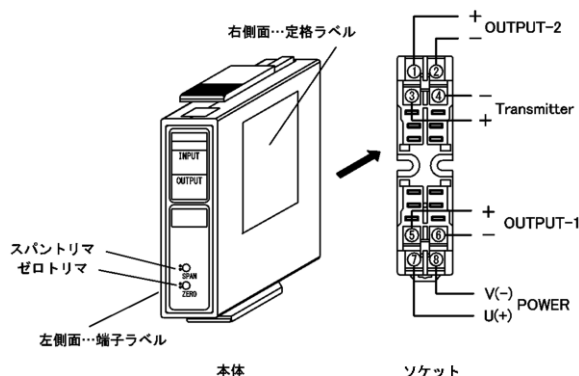
5) 配線について

- 電源ライン、入力ライン、出力ラインの配線は、ノイズ発生源、リレー駆動ライン、高周波ラインの近くに配線しないでください。
- ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けてください。

6) その他

- 本器は電源投入と同時に動作可能ですが、全ての性能を満足するには 30 分間の通電を要します。
- 本器は精密機器のため 1 年毎のゼロ、及びスパン調整による定期校正を推奨いたします。

2. 各部名称・端子配列



端子番号	記号	内容
1	(OUTPUT-2) +	(用途に応じてご使用ください※1)
2	-	
3	TRANS	トランスミッタから4~20mA信号を接続してください。
4	MITTER	
5	OUTPUT-1 +	入出力仕様に基づいた信号が出力されます。
6	-	
7	POWER U(+)	定格電圧の電源を接続してください。
8	V(-)	

結線部位 : M3.5セムスネジ
ネジ締付トルク : 推奨0.8N・m

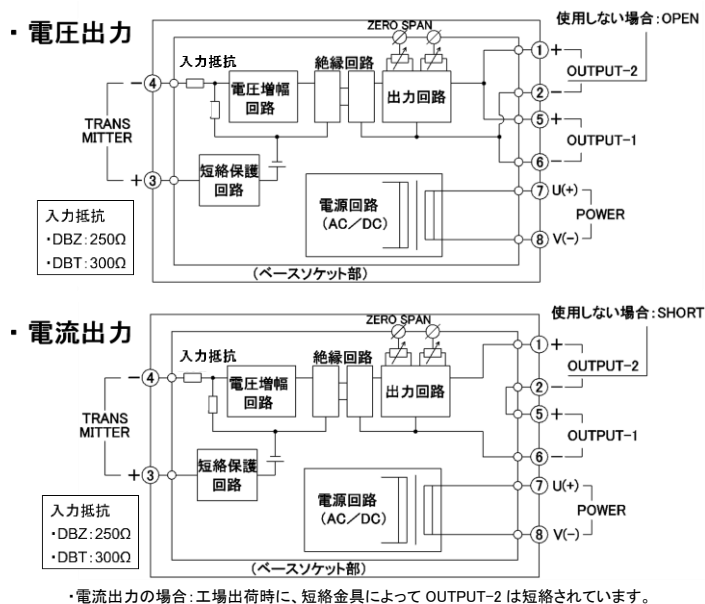
※1. OUTPUT-2 について

OUTPUT-2 をご使用になる場合、以下の点にご注意ください。

- 電圧出力の場合: OUTPUT-1 の信号が並列に OUTPUT-2 から出力されます。("3. 回路構成"参照)
- 電流出力の場合: OUTPUT-1 の信号が直列に OUTPUT-2 から出力されます。("3. 回路構成"参照)

いずれの場合も、許容負荷抵抗は OUTPUT-1/OUTPUT-2 の合成値となりますのでご注意ください。

3. 回路構成



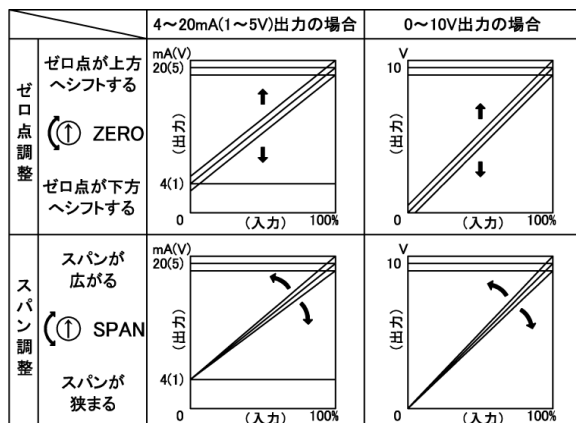
・電流出力の場合: 工場出荷時に、短絡金具によって OUTPUT-2 は短絡されています。

4. ゼロ及びスパン調整方法

本器は出荷時に校正済みですから、ご注文時の仕様通りにご使用になる限りでは、ゼロ(ZERO)及びスパン(SPAN)の各トリマを操作する必要はありません。接続機器との整合をとる場合、又は定期校正が必要になった場合は、下記の要領で調整してください。

ただし、校正の場合は、本器許容差の10倍以上の確度を有する信号源(標準電圧、電流発生器など)及び、測定器(電圧計、電流計)を使用し、電源投入後30分以上経過してから行ってください。ゼロとスパンの調整範囲は、約 $\pm 10\%fs$ となっており、多回転トリマが実装されています。

- 1) ゼロ調整: 入力端子に入力範囲の最小値を入力し、この時の出力信号が出力範囲の最小値になる様にゼロトリマを回して合わせてください。
- 2) スパン調整: 入力端子に入力範囲の最大値を入力し、この時の出力信号が出力範囲の最大値になる様にスパントリマを回して合わせてください。



5. 範囲外条件に対する動作

1) 過大入力

入力範囲の上限を上回る信号が入力された場合、出力信号は約120%fsまで入力にほぼ比例して増加します。

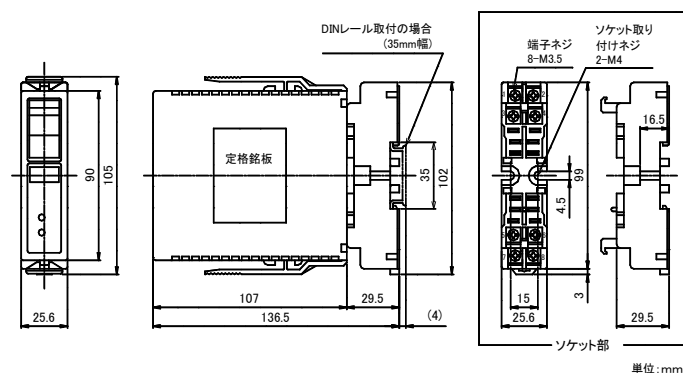
2) 過小入力

入力範囲の下限を下回る信号が入力された場合、出力信号は約20%fsまで入力にほぼ比例して減少します。

3) 範囲外負荷

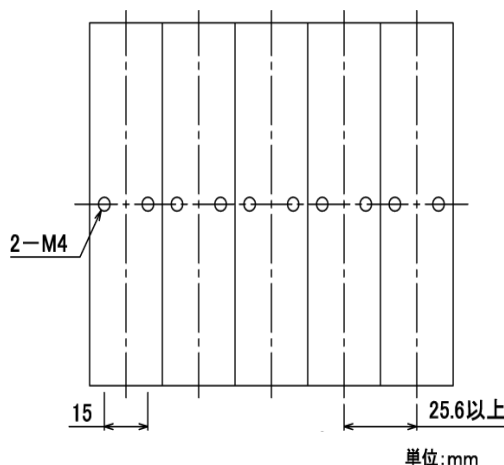
- ① 電流出力の場合、「許容負荷抵抗範囲」を上回ると、出力端子間の電圧が約15Vになるまでの範囲では、入力にほぼ比例した出力が得られますが、それ以上になりますと、出力が飽和し誤差が大きくなります。
- ② 電圧出力の場合、「許容負荷抵抗範囲」を下回ると、出力が飽和し誤差が大きくなります。

6. 外形寸法図



7. 取付方法

壁面取付の場合は、外形寸法図を参考にしてください。
下図は、本製品の最少隣接配置です。



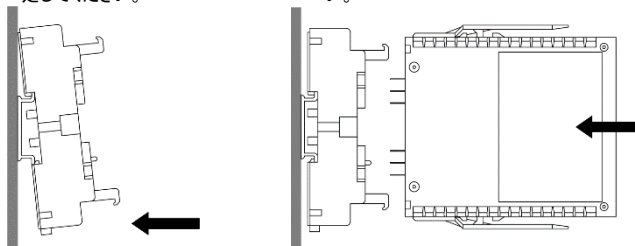
8. DINレールとの着脱方法

1) ソケットの固定方法

ソケット底面のスライダを下方にして、ソケット裏面上側の爪をレールに引っ掛けてから、ソケット下部を図の矢印の方向に押し込んで固定してください。

2) 本体とソケットの固定方法

本体を正面ラベルの文字が正しく読める方向にして、まっすぐ差込みます。その際、ソケットの突起部とフックが噛み合うまで押し込んで下さい。

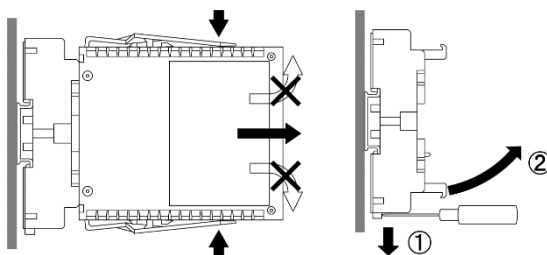


3) ソケットから本体を外す方法

本体上下のフックを同時に広げたまま、本体をまっすぐに引き抜いてください。フックを十分に広げずに本体を引き抜こうとすると、ソケットが破損することがありますので注意して下さい。

4) ソケットを外す方法

ソケットのスライダの溝にマイナスドライバを差込んで、図の矢印の方向①に引きながらソケット下部を手前②に引いて外してください。



9. 保証について

本器の保証期間は納入後1年です。この期間内に通常の使用条件下で故障が発生した場合は、なるべく早く弊社またはお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

弊社に引き取って無償にて修理を行うか、新品と交換させていただきます。なお、分解・改造及び通常でない状態でのご使用に対する責任はご容赦いただきます。

また、本製品に起因して生じた損害に関しては、当社はいかなる場合も責任を負いません。